

広島大学大学院文学研究科附属内海文化研究施設

第47回季例会・公開講演会

厳島神社の舞楽と音楽



舞楽「蘭陵王」

画像提供：一般社団法人宮島観光協会
撮影：新谷孝一

令和2年

日時：3月10日 火 13:30～15:30

場所：文学研究科（文学部）1階 大会義室

講師：厳島神社禰宜

福田道憲氏（ほか神職3名）

無料

【概要】

厳島神社と言えば、海に突き出した高舞台の上で舞われる荘厳にして華麗な舞楽が有名で、観光パンフレットやポスターの図柄にもよく使われています。舞楽は、日本古来の雅楽に用いられる独特の楽器の演奏に合わせて舞われます。演奏される楽器はどんなもので、神職の皆さんは日ごろどのような練習をなさっているのでしょうか。今回は、厳島神社の禰宜であり学芸員でもある福田道憲氏と若い神職の方々にいらしていただき、^{りゅうてき}龍笛、^{ひちりき}箏、^{しやう}笙という3種の楽器の演奏法や音色を披露していただくとともに、神職さんの練習の様子などについてお話しいたします。